議題(1) 資料1

令和４年度茅ヶ崎市国民健康保険事業特別会計
～当初予算（案）のポイント～

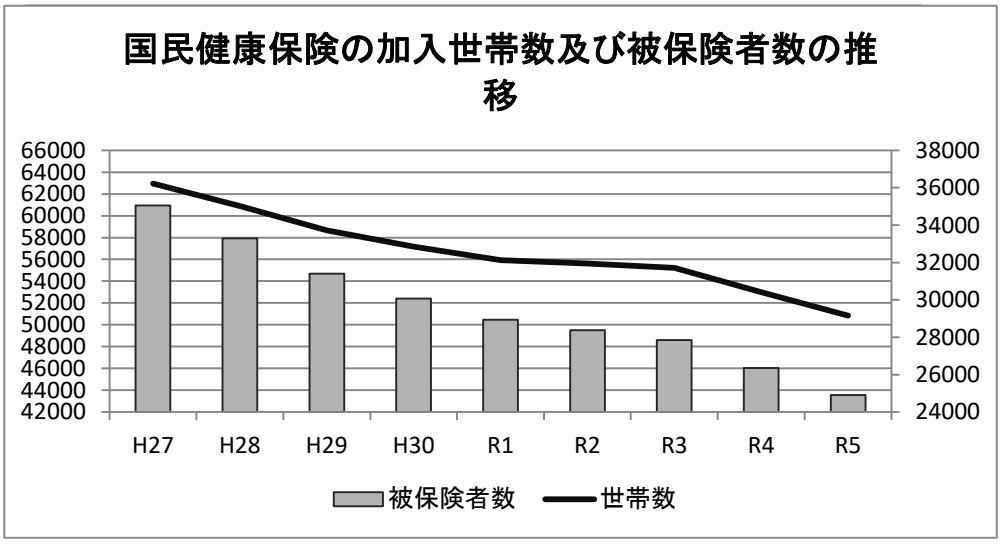
１　国民健康保険の加入者の状況と見込み

(1) 被保険者数の減少

被保険者数は、高齢化の進行による後期高齢者医療制度への移行者の高止まり等により、減少傾向となっています。令和２年度の平均被保険者数は４９，４９９人でしたが、令和４年度においては４６，０２７人程度となるものと見込んでいます。

(2) 世帯数の減少

加入世帯数は、被保険者数の減少と同様で、引き続き、減少傾向にあると見込んでいます。令和２年度の平均加入世帯数は３１，９４６世帯でしたが、令和４年度においては３０，４２２世帯程度となるものと見込んでいます。



２　歳入予算の状況

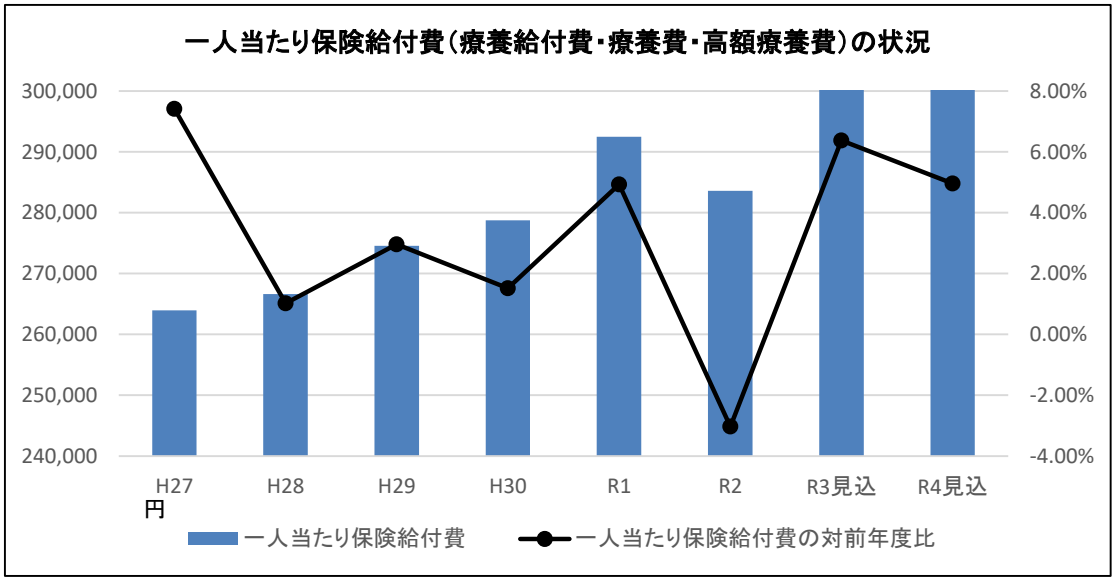
国民健康保険料算定の基礎となる国民健康保険事業費納付金が増額したこと、新型コロナウイルス感染症の拡大により被保険者の所得状況の見通しが不透明であることを踏まえ、保険料率の急激な上昇を抑制するために基金から３００百万円の繰り入れを予定するとともに、国民健康保険料を前年度５．７%増の約５，０３８百万円としました。また、法定外のその他一般会計繰入金は、段階的な削減を目指していることから、前年度３５．５%減の約１１１百万円を計上しました。

	令和４年度当初予算	令和３年度当初予算	伸び率
国民健康保険料	５，０３８百万円	４，７６６百万円	５．７%
その他一般会計繰入金	１１１百万円	１７２百万円	△３５．５%
国民健康保険運営基金繰入金	３００百万円	３００百万円	０%

３　歳出予算の状況

総務費については、本市財政健全化緊急対策に基づく事務事業費の精査を行い、前年度７．３%減の約３４４百万円を計上しました。
保険給付費については、被保険者数は減少の見込みはありつつも、直近では保険給付費に若干の伸びがみられることから、その動向を踏まえ、前年度２．７%増の１５，５２９百万円を見込みました。
全県の国民健康保険運営のため、県に支払う国民健康保険事業費納付金は、前年度３．４%増の約６，５５０百万円となりました。

	令和４年度当初予算	令和３年度当初予算	伸び率
総務費	３４４百万円	３７１百万円	△７．３%
保険給付費	１５，５２９百万円	１５，１２２百万円	２．７%
国民健康保険事業費納付金	６，５５０百万円	６，３３４百万円	３．４%

（参考）一人当たり保険給付費の推移

高齢化の進展や医療の高度化の影響により、一人当たり保険給付費は増加傾向で推移しています。令和３年度については、新型コロナウイルス感染症拡大による受診控えの反動を主な要因として、保険給付費の増加幅が顕著であったため、一人当たり保険給付費は増加に転じることが見込まれます。
特殊事情により、一人当たり保険給付費の推計が困難であるところですが、令和３年度は、引続き増加し、約３１万７千円程度となるものと見込んでいます。